

いつまでも、住み慣れたところで、 楽しく、自分らしく生活するために！

「認知症」の学習会を村内の各集会所で開催しています。

「認知症」は脳の病気です

脳は、私たちの活動をコントロールしている司令塔です。脳がうまく働かないと、精神や身体も活動もスムーズに運ばなくなり、死んだり、働きが悪くなったりして障害がおこり、生活に支障が出てくる状態をいいます。認知症は、高齢者だけでなく誰もがなる可能性がある病気です。

「認知症」の予防や早期発見・早期治療が必要です

大事な家族や親などが、認知症にならないようにするためには、家族など周囲の人たちが、認知症を初期の段階で発見し、正しく対応することで認知症の進行を防いだり、適切な治療が可能になります。自分自身も日常生活で認知

症予防を心がけることが大切です。

「認知症」を初期の段階で見つけるためには

「認知症」を初期の段階で発見するためには、「認知症」について正しく理解し、認知症の人やその家族を見守り、支援できる人が必要です。

家族のうち一人は「認知症」の、良き理解者として知識をつけましょう。

「認知症サポーター」を
ご存知ですか

鮫川村では、平成十八年から三年計画で認知症サポーターを養成しています。

平成十八年度に五十三人、平成十九年度に三百九人、二十年九月五日現在三十一人、認知症サポ

ーターは三百九十三人になり家庭や地域で活躍しています。

現在、各集会所単位で認知症サポーター養成講座を開催しています。

認知症サポーターは、なにか特別なことをする人ではなく、認知症について、偏見をもたず、認知症の人や家族を温かく見守る応援者として、自分のできる範囲で活動します。自分自身の問題として、周囲の人に学んだ知識を伝えることや、認知症の人やその家族の気持ちを理解しようと努めること、その他、認知症の人や家族の話を聴く、声をかけるなどの何気ないことも、大事な活動になります。

「認知症の人は何もできない」と考えてしまうのは間違いであると言えます。今まで出来ていたことが、少しずつ出来なくなってしまうため、本人が一番悲しい気持ちになります。そこでサポ



講座の様子

に出来なくなったりと、自分を補う支援をしてもらえば、自分でやることも増え、穏やかに暮らしていくことができます。偏見という心のバリアをなくし、住みやすい地域づくりのお手伝いをしていきたいと思います。

「オレンジリング」とは

村が行っている「認知症サポーター養成講座」を一時間三十分受講した方には、「認知症サポーター」として、オレンジリングが渡されます。

オレンジリングは認知症の人を



支援するものです。

認知症の人を連れてスーパーに買い物に行っている時や病院にいる時は、一人でトイレに行く事も大変です。同性なら一緒に行くことも可能ですが、夫婦や異性の場合は困ります。そんな時、ちょっと、見ていてくれるサポーターがいれば、安心してトイレにも行けます。そんなお手伝いをしてくれる方がサポーターです。

講座を担当するのは、
「キャラバン・メイト」

「認知症サポーター養成講座」の講師は、「キャラバン・メイト」が務めます。

現在、村には研修を終えた八人のキャラバン・メイトが活動しています。

講座参加者の
感想

- ・ 講座は資料だけでなく、パワーポイントを使ったもので、とても分かりやすかった。
- ・ 認知症の方のお話を、よく聴くようにしたい。
- ・ 男性が参加してくれてよかった。(5人)
- ・ 最後のビデオがまとめになりよかった。
- ・ オレンジリングのサイズがもつと大きいとよかった。

- ・ 認知症について、あいまいだったが、知ることが出来てよかった。
- ・ 夫婦や家族で聴いて欲しい。

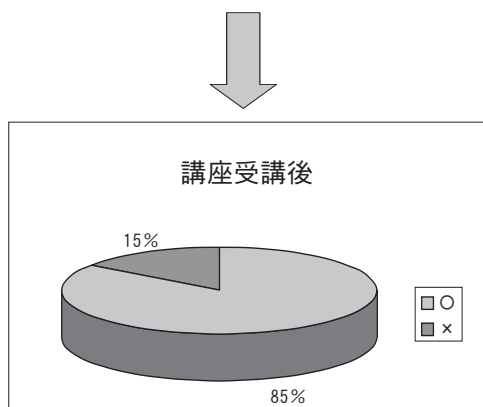
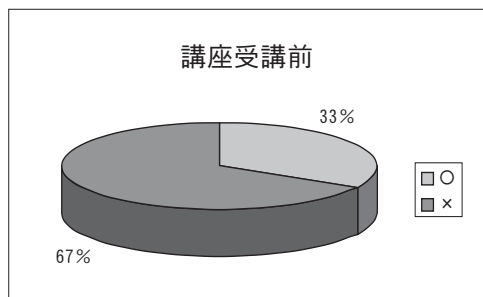
最後に
認知症サポーター養成講座は保健推進員の地区健康教室として位置づけられ、村が共催しています。保健推進員が案内を配布しますので、各地区の保健推進員にお問い合わせください。

■問い合わせ 村住民福祉課国保健康係 ☎ 49-3112

認知症に関するアンケート結果

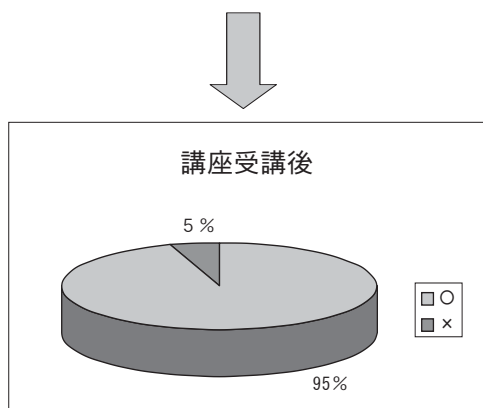
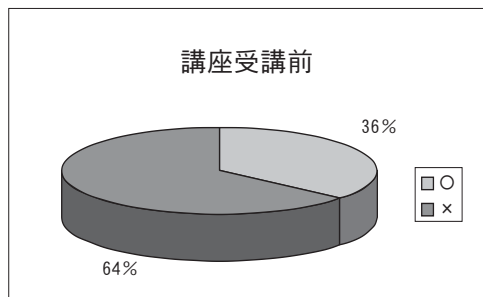
(対象：認知症サポーター養成講座参加者110人)

●「認知症」についてわかっている



「認知症」はについて、分かっていると答えた人が、講座開始前は33%だったが、講座終了後は52%増え全体で、85%となった。

●「認知症サポーター」を知っている



「認知症サポーター」を知っている人は講座開始前の36%から講座終了後は95%に増加し理解が深まった。